

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	4	1	基本事務事業名	行財政改革推進事務	事務事業名	行財政改革推進プラン推進事務	公的関与	2	シート作成日	令和7年6月2日		
	部局名	企画総務部		課名	財政課	主務課長名	藤井 信良		シート作成者名	佐々木 大祐			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
	主要施策		(1) 効率的な行政運営の推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市の行政組織と行政事務事業										
		目的(どういふ状態にしたいのか)	最終的	将来にわたって持続可能に発展し続ける市政を実現するため、総合計画や各種計画との整合性を保ちながら、時代の変化に対応した行財政システムの構築を図り、財政健全化と充実した行政サービスの向上を目指します。									
	事業の活動内容	今年度	行財政改革推進プランの進捗状況ととりまとめ、行財政改革推進委員会に報告するとともに、ホームページ等において市民に分かりやすく公表します。令和7年度からスタートする新たな「行財政改革推進プラン」を、「中期財政見直し」を踏まえ、中長期的な視点から策定します。										
① 取組項目の計画的な推進のため、関係各課での積極的な取組への要請と進捗状況の把握を行います。 ② 行財政改革推進本部会議を開催し、プラン推進について全庁的な検討協議を行います。 ③ 行財政改革推進委員会を開催し、取り組みに対する意見・助言を受けるとともに、進捗状況の報告を行います。 ④ 「中期財政見直し」を踏まえ、中長期的な視点から、新たな「行財政改革推進プラン2025」を策定します。 ⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標					
	事業の実施回数や市税の収納率等	令和2年度以降、全体での指標は設定していない。		目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	3	財政管理費
	直接事業費			令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算		備考					
		国庫支出金		千円	千円	千円							
		県支出金		千円	千円	千円							
		地方債		千円	千円	千円							
		その他特定財源		千円	千円	千円							
		一般財源		千円	千円	千円							
	計(A)		0 千円	0 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.025 人	151 千円	0.025 人	149 千円	0.025 人	154 千円					
		会計年度任用職員職種											
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)			151 千円	149 千円	154 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価			
							○ 少ない	● 大きい				○ 少ない	● 大きい		
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	安定した行財政基盤の確立及び今後における新たな行財政課題に対応するため、委員会の意見・助言等のもと、市民の視点に立った計画内容の見直しを推進していく必要があります。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。						<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	項目別の数値目標や達成状況を公表することにより、職員一人ひとりの意識改革を図ることができ、市民の視点に立った市政を推進することができます。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	項目別の目標28項目に対して16項目で目標を達成しましたが、全ての目標を達成するため、更に積極的に推進していきます。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。						<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	令和6年度は5年ぶりに行革プランの改定作業を行った。コロナ禍を経た時代の変容に合わせ、新たな行革プランでは抜本的に取組事項を見直した。公共施設のあり方を見直しなど特に重要度の高い取組事項に絞ることで効率性の向上を目指した。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。						<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A				
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等					
	当面の課題	令和6年度は5年ぶりに行革プランの見直しを行った。今後は、新プランである「行財政改革推進プラン2025」をいかに具現化していくかが、課題となっています。公共施設のあり方見直しでは、公共施設マネジメントプロジェクトチーム、DXの推進ではDX推進プロジェクトチームなど、全庁を挙げた所管課の垣根を超えた取組の推進が必要不可欠となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
	改革案と実行計画	行財政改革推進委員会の意見・助言等を踏まえながら、取り組み状況の検証を行い、施策実施に反映させていくことで、市民主体の市政の推進を図ります。令和7年度からは新たな「行財政改革推進プラン2025」に基づき改革を進めてまいります。					第1次～2次の集中改革プランにおいては、人件費削減を中心とした大きな財政効果が見られましたが、近年の第3次集中改革プラン期間中ではその効果額が減少してきました。令和7年度は合併21年目を迎え、合併による国からの財政的支援が終わりを迎える中、新たに策定した「行財政改革推進プラン2025」のもと、今まで以上に行政の「質」の向上を図るとともに、持続可能な行財政運営に努めるべく、取り組みを進めてまいります。								
	委員会指摘事項														